

省力・省人化の工法普及へ

ジャバラユニット協が発足

専用のゴム付き結束線を使用して鉄筋を工場で先組みし、折りたたんだ状態で運搬し現場に設置する「鉄筋ジャバラユニット工法」

の普及を目指す「ジャバラユニット協会」の設立式が1月30日に福岡市内で開かれた。設立時会員は全国の鉄筋工事業者29社。理事長には柳井通商（福岡市中央



区)の柳井扶美代社長が真IIが就任した。省力化・省人化につながる同工法の普及を通じて建設業界の働き方改革、鉄筋工事業者の魅力向上を目指す。

同工法で使う専用結束線「Jワイヤー」は柳井通商の特約店制度があったが、工法を広く活用してもらうため、特約店制度を撤廃し協会を設立した。協会ではマニュアルの整備、会員相互の技術提供・指導、施主や元請への提案支援などの活動を行う。

式の冒頭、柳井理事長は建設業界の人手不足や時間外労働の罰則付き上限規制などに触れ「今こそ最もジ

ャバラユニット工法が必要とされていると実感し、大きな使命感とともに本日を迎えている。まずは協会の生産性向上に貢献できるように働き、鉄筋業界の発展のお役に立ち、共存共栄の志で皆さんと共に進んでいきたい」とあいさつした。

式では会員による工法の採用状況などの報告もあり、現場作業時間の短縮や安全性の向上、優れた施工性、保管・運搬の効率化などのメリットが挙げられた。

